



りんご輸出チャレンジャー報告（鹿内 憲一）

<p>プロフィール</p>	<p>旧浪岡町（現青森市）において5代100年続くりんご農家の5代目です。 青果市場向けりんごの他、個人向けの良食味りんごを目指し、葉とらず栽培にも取り組んでいます。</p>	
<p>経営の特徴</p>	<p>市場出荷をメインに、農協や地元の「道の駅アップルヒル」等に出荷していますが、販売チャネルの増加と所得の向上を目指し、ネット通販にも取り組んでいます。</p>	
<p>輸出取り組みの抱負</p>	<p>今回は1農家が輸出に取り組むことが可能かどうか、また、商品としてどのようなりんごが求められるか、実際に輸出に取り組む場合の有益性を知りたいと思っています。</p>	
<p>現在の作業状況</p>	<p>現在、中生品種の収穫が概ね終了し、主力品種である「ふじ」の着色管理を全力で進めています。</p>	
<p>今年のリんごの作柄</p>	<p>浪岡地域は、開花期が他の地域と比べて遅いこともあり、りんごはやや小ぶりですが、食味と着色は良好に仕上がっています。 「ふじ」と「王林」の着果量が平年に比べ20～30%程度少なめなほかは平年並みの着果量となっています。</p>	